

2004年6/19(土)に山口大1次試験を受けてきましたので、思い出せる範囲でFeedbackしたい
と思います。

定員:10名

1次受験者数:約270名

1次合格者数:40名

2次合格者数(最終):10名

倍率:約27倍

受験者層:7~8割は20代、残りは30代以上と感じました。

試験:

◆生命科学、1時間半

今年からマークシートの4択問題のみ。

問題数53問

私は生物のバックグラウンドの無い者ですから、具体的に問題をポンポン思い出せない
ですが、高校生物を完璧な人なら8割は解答出来る内容だと思います。

どなたか、具体的な内容を覚えている方はSupport下さい。

◆小論文、2時間半

大問2つです。1つの大問に2つの問題がありましたので、計4つばかり記述する問
題がありました。大問2つは英語の文書を読んで答えるものですが、Natureや
Scientific Americanの様な学術ジャーナルからの出典ではなく、難しい単語全てに
注釈が付いていました。

問1文の概要:

医師(Dr.Ingelfinger アメリカ人でしょうか?)が自ら癌になった時、治療法に関し
て自分ではなかなか決断出来ずに、医師でもある友人に「あなたに今必要なのは、医
師である。(医師に対して言うのが皮肉ですね。)」とのアドバイスに、やっ他の
医師に自分の疾患を委ねる決心をして、心の重荷が下りたとの話。Dr.Ingelfingerは
時には、権威主義・主体的な医師(ガンガン患者さんをリードする医師という意味だ
と思います)も必要と説く。

文量:A4x1 枚位です。

問1-1:本文を 300 字に要約(日本語)

問1-2:本文最後に、「権威主義的な医師」と“責任を取らない優柔不断な医師”は明確に区別しなければいけない、医師の資質は。。。。」との部分に下線部があり、

「下線部で述べられている医師の資質を 4 つ述べよ」とあります。

*この問題は曲者で、本文中に明確に医師の資質を述べている所が4つもないと、“私は”読み取りました。だから、これは、本文抜きで自分が考える医師の資質x4つを述べる問題なのかな?と判断に迷いました。しかし、私は、本分から強引に資質らしき部分を4つ抜き取り、解答しました。

各資質を 30 文字程度で解答(日本語)

問2 文の概要:

死を間近にしたアメリカ人哲学者(老人)のアメリカ文化を憂えた文書

「アメリカ文化は、マテリアリズムに走りすぎている。人々は、おもちゃ、車、土地等飽くことなく欲しがる。また、物を手に入れたら、手に入れたで人に見せびらかしている。根本原因は、繰り返されるコマーシャルせいである。受け手が何が本質か?と判断する思考を止める位に繰り返されるからだ。

本当に、人生に意味を見出すのは、物を得る事を通してではなく、あなた自身を捧げるなかで得られる。そして、一番大事なのはあなたの愛を捧げることである。」

文量:A4x1 枚位です。

問2-1:本文を 300 字に要約(日本語)

問2-2:本文の照らし合わせて、あなたが思う日本の現状はどうでしょうか?

日本語 500 字で解答

*これこそは小論文の問題だと思います。何故なら、英文の概要が理解出来ていれば、後は自分の意見を展開するだけだからです。

その他:

時計は必ず持参しましょう。試験会場は講義室で、時計は置いておりませんでした。

時計を持って来ていなく、慌てている受験生を見かけました。聞くところによると、多くの試験会場には時計が無いようです。

生命科学の選択肢は、例えば

「次の文章の中で正しいのはどれか」といった問いで、

1. ラギング鎖は進行方向に沿って形成される。
 2. RNAは5'から3'の向きに合成される。
 3. ……
 4. ……
- 1)1 2)1,3,4 3)2,3 4)すべて

という形式でした。

思ったより生命科学色が強い感じもしましたが、アブラムシとありと天敵の例を出して、相利共生(でいいんですよね?)を選ばせる問題や、遺伝の組換え価など、基本的な生物の問題や、アルコール発酵で出来るアルコールのg数の計算など、基本的な化学もありました。

受験者は先日の投稿には約270名とあったのですが、私ははっきり講義棟に1階と2階だけの受験番号172番までだと思っていました。見間違えたのかな？

小論文の間2も、先日の投稿に、『自ら癌になった時、治療法に関して自分ではなかなか決断出来ずにいた』や、『やっと他の医師に自分の疾患を委ねる決心をして、心の重荷が下りた』とありましたが、私はどこからも読み取ることが出来なかったです……。どこに書いてあったんでしょう(^_^; 読解力不足でした…。

生物学については、形式だけでなくレベルも変わったようです。昨年までは、高校生物で十分とかセンター+ α とほとんどの人が言ってましたが、今年はそれ以上のレベルの問題が散見されていました。(去年の鹿児島ほどではありませんが、あきらかに向かっている方向は同じような気がします)個人的印象ですが、大まかに言って◆センター生物+ α 4~5割◆一般入試レベル2~3割◆大学教養レベル3割といった感じではなかったかと思います。ミカエリス・メンテンの式がでてきたり、IgMの性質を問われたり、HIVの抗体や細胞骨格についてはどう見ても高校レベルではないと思います(もともと、良く問題や選択肢を見ると、知識がなくても解ける問題もあったような気がしましたが...)。選択肢は5つ(4つではなかったと思います)でした。しかも、今年からは書類選考がなくなったせいか、受験者270人のうち、生物の成績上位100人しか小論文(英語)の採点をしてもらえない、ということですので、高校生物レベルだけでの受験ではかなり苦戦が強いられるような気がします(私もその一人ですが)。時間は30分短縮されて90分でしたが、余裕はあまりありませんが、たりないというほどでもありませんでした。

小論文(英語)の方は、大体MR KIMOTOのご指摘のとおりだと思いますが、他大学との比較で言うと、ほとんどの単語に注がついていて、とても親切な印象です(要求された語彙力はセンターレベル以下)。ただし、内容がやや抽象的だったりして、捉えにくいところはあった気がします、英語力より記述回答の内容が問われていたと思います。時間は、たっぷりありました。

以上ですが、生物の問題レベルの評価をみなさんお願いします